

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-237359

(43)Date of publication of application : 23.08.1994

(51)Int.Cl.

H04N 1/32

(21)Application number : 05-043396

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 09.02.1993

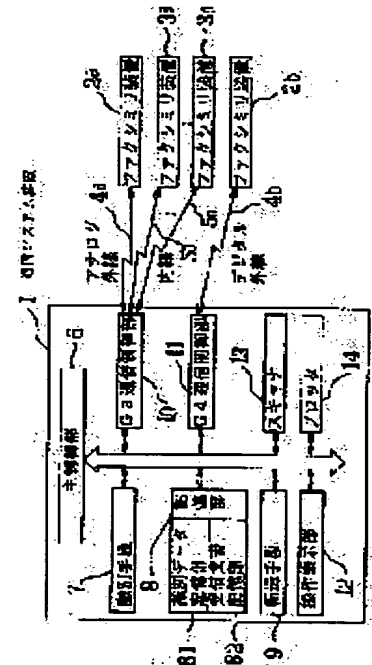
(72)Inventor : TAKAHASHI KAZUYA

(54) COMMUNICATION SYSTEM EQUIPMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To store received originals by senders and to transfer the originals to extension facsimile equipments by the senders.

CONSTITUTION: An identification means 7 identifies a sender by using a TSI signal or an NSS when an original is received by a facsimile equipment 2a compatible with G3 and using a sender subaddress or sender identification data in a CSS signal and a sender number in a SETUP signal when the original is received by a facsimile equipment 2b compatible with G4. A storage section 8 stores received originals by senders identified by the identification means 7. A transfer means 9 transfers received originals stored in the storage section 8 by senders for each preset time or on request from extension facsimile equipments 3a-3n.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 29.10.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 29.01.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-237359

(43)公開日 平成6年(1994)8月23日

(51)Int.Cl.⁵

H 0 4 N 1/32

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

Z 2109-5C

審査請求 未請求 請求項の数 8 F D (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平5-43396

(22)出願日 平成5年(1993)2月9日

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72)発明者 高橋 和哉

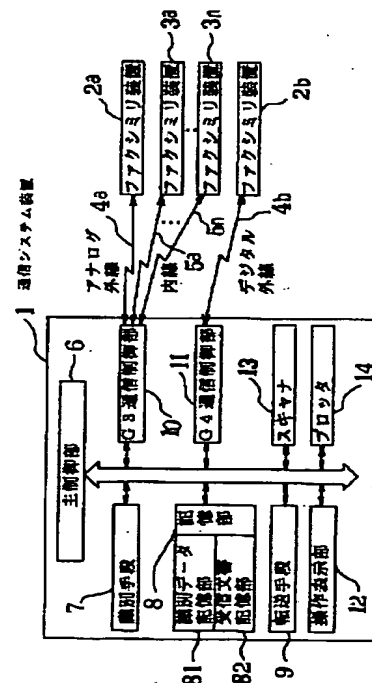
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
会社リコー内

(54)【発明の名称】 通信システム装置

(57)【要約】

【目的】受信原稿を発信者別に保管し、発信者別に内線ファクシミリ装置に転送する。

【構成】 識別手段7は原稿をG3対応のファクシミリ装置2aから受信した場合は、TSI信号又はNSSを用いて、G4対応のファクシミリ装置2bから受信した場合は、SETUP信号中の発番号、発サブアドレス又はCSS信号中の発信者識別用データを用いて発信者を識別する。記憶部8は識別手段7で識別した発信者別に受信原稿を記憶する。転送手段9は発信者別に記憶部8に蓄積された受信原稿を予め設定した時間毎に、又は内線ファクシミリ装置3a～3nからの要求により転送する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 識別手段と記憶部を有し、識別手段はG3対応のファクシミリ装置から受信したT S I信号を用いて発信者を識別し、記憶部は識別手段で識別した発信者別に受信原稿を記憶することを特徴とする通信システム装置。

【請求項2】 識別手段はG3対応のファクシミリ装置から受信したN S S信号を用いて発信者を識別する請求項1記載の通信システム装置。

【請求項3】 発信側のG4対応のファクシミリ装置から発信情報として発信者の電話番号である発番号を有するS E T U P信号を受信した場合、識別手段はG4対応のファクシミリ装置から受信したS E T U P信号中の発番号を用いて発信者を識別する請求項1記載の通信システム装置。

【請求項4】 発信側のG4対応のファクシミリ装置から発信情報として発信者の認識データである発サブアドレスを有するS E T U P信号を受信した場合、識別手段はG4対応のファクシミリ装置から受信したS E T U P信号中の発サブアドレスを用いて発信者を識別する請求項1記載の通信システム装置。

【請求項5】 識別手段はG4対応のファクシミリ装置から受信したC S S信号中の発信者識別用データを用いて発信者を識別する請求項1記載の通信システム装置。

【請求項6】 記憶部に発信者別に蓄積された受信原稿を予め設定された時間に内線で接続されたファクシミリ装置に転送する転送手段を有する請求項1、2、3、4又は5記載の通信システム装置。

【請求項7】 転送手段は発信者別に記憶部に蓄積された受信原稿を内線で接続された予め設定されたファクシミリ装置に転送する請求項1、2、3、4、5又は6記載の通信システム装置。

【請求項8】 転送手段は発信者別に記憶部に蓄積された受信原稿を内線で接続されたファクシミリ装置からの要求によりその要求を発したファクシミリ装置に転送する請求項1、2、3、4、5、6又は7記載の通信システム装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は通信システム装置、特に受信した原稿を発信者別に区分けするファクシミリ機能を有する通信システム装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、ファクシミリ装置はオフィスに広く普及してその使用頻度が高まってきているため、同一事業所内で複数のファクシミリ装置を使用している場合も多くなってきている。ファクシミリ装置ではいつどこから原稿が送られて来るか分からず、また、受信した原稿をそのまま出力しているため、各ファクシミリ装置から出力した原稿を出力のつど集め、原稿の内容を確認し

ながら人手により区分けをする必要があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、原稿の内容を確認して宛先を区別するのは、時間が掛かるうえに容易ではない。それに対して、特開平2-162941公報に開示されたファクシミリ蓄積装置では、複数のファクシミリ装置を一台のファクシミリ蓄積装置に接続し、受信原稿を集中管理している。このファクシミリ蓄積装置では予め管理制御用のテーブルをグループ分けして、外部ファクシミリ装置から受信原稿とともにグループの区分に対応する識別情報を受信したときに受信原稿をハードディスク等の大容量の記憶装置にグループ別に記憶して管理している。グループ別に蓄積した受信原稿を、接続した他のファクシミリ装置からの要求により転送することにより原稿を人手で区分けする必要をなくしている。

【0004】 上記ファクシミリ蓄積装置では、受信原稿をグループ別に蓄積し、グループ別に蓄積した受信原稿を転送することにより、受信原稿を人手により区分けする必要をなくしているが、予め指定したグループにより区分けているため、他社のファクシミリ装置からファクシミリ原稿を受信した場合、受信した情報の中に指定したグループ識別情報がないことも多く、依然として原稿を人手により区分けする必要がある。

【0005】 また、従来のファクシミリ蓄積装置では、宛先毎に蓄積されるため、各支店からの情報を毎日定時に集計する場合のように発信者毎に区分けする必要がある場合には、原稿を人手によって区分けする必要があった。

【0006】 この発明はかかる短所を解消するためになされたものであり、プロトコルの異なるファクシミリ装置からのファクシミリ通信であっても、ファクシミリ通信のプロトコル中に用いられる信号の中のデータを用いて自動的に発信者別に区分けして、蓄積及び転送を行うことができるファクシミリ機能を有する通信システム装置を得ることを目的とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】 この発明に係る通信システム装置は、識別手段はG3対応のファクシミリ装置から受信したT S I信号を用いて発信者を識別し、記憶部は識別手段で識別した発信者別に受信原稿を記憶する。

【0008】 また、識別手段はG3対応のファクシミリ装置から受信したN S S信号を用いて発信者を識別する。

【0009】 また、発信側のG4対応のファクシミリ装置から発信情報として発信者の電話番号である発番号を有するS E T U P信号を受信した場合、識別手段はG4対応のファクシミリ装置から受信したS E T U P信号中の発番号を用いて発信者を識別する。

【0010】 また、発信側のG4対応のファクシミリ装

置から発信情報として発信者の認識データである発サブアドレスを有するSETUP信号を受信した場合、識別手段はG4対応のファクシミリ装置から受信したSETUP信号中の発サブアドレスを用いて発信者を識別する。

【0011】また、識別手段はG4対応のファクシミリ装置から受信したCSS信号中の発信者識別用データを用いて発信者を識別する。

【0012】また、発信者別に記憶部に蓄積された受信原稿を予め設定した時間に内線で接続されたファクシミリ装置に転送する転送手段を有する。 10

【0013】さらに、転送手段は発信者別に記憶部に蓄積された受信原稿を内線で接続された予め設定したファクシミリ装置に転送する。

【0014】さらに、転送手段は発信者別に記憶部に蓄積された受信原稿を内線で接続されたファクシミリ装置からの要求によりその要求したファクシミリ装置に転送する。

【0015】

【作用】この発明においては、識別手段はG3対応のファクシミリ装置から受信したTSI信号を用いて発信者を識別し、記憶部は識別手段で識別した発信者別に受信原稿を記憶する。G3プロトコルの標準であるTSI信号を使うので、発信側ファクシミリ装置が通信手順の細部に差異がある装置であっても、発信者を識別することができる。 20

【0016】また、識別手段はG3対応のファクシミリ装置から受信したNSS信号を用いて発信者を識別する。NSS信号を使うことにより、同一プロトコルを用いるファクシミリ装置間で通信する場合は、非標準機能を使い発信者を識別することができる。 30

【0017】また、発信側のG4対応のファクシミリ装置から発信情報として発信者の電話番号である発番号を有するSETUP信号を受信した場合、識別手段はG4対応のファクシミリ装置から受信したSETUP信号中の発番号を用いて発信者を識別するので、SETUP信号を使用した特殊なファクシミリ装置等からの信号を使い発信者を識別することができる。

【0018】また、発信側のG4対応のファクシミリ装置から発信情報として発信者の認識番号である発サブアドレスを有するSETUP信号を受信した場合、識別手段はG4対応のファクシミリ装置から受信したSETUP信号中の発サブアドレスを用いて発信者を識別するので、SETUP信号を使用した特殊なファクシミリ装置等からの信号を使い発信者を識別することができる。 40

【0019】また、識別手段はG4対応のファクシミリ装置から受信したCSS信号中の発信者識別用データを用いて発信者を識別する。G3プロトコルの標準であるCSS信号を使うので、発信側ファクシミリ装置が通信手順の細部に差異がある装置であっても、発信者を識別 50

することができる。

【0020】また、発信者別に記憶部に蓄積された受信原稿を予め設定した時間に内線で接続されたファクシミリ装置に転送する転送手段を有するので、ある程度受信原稿が溜ってから原稿を発信者別に区分けして転送できる。

【0021】さらに、転送手段は記憶部で発信者別に蓄積された受信原稿を内線で接続された予め設定したファクシミリ装置に転送するので、発信者別に異なったファクシミリ装置から原稿を出力できる。

【0022】さらに、転送手段は発信者別に記憶部に蓄積された受信原稿を内線で接続されたファクシミリ装置からの要求によりその要求したファクシミリ装置に転送するので、内線で接続された任意のファクシミリ装置から発信者を指定して原稿を転送できる。

【0023】

【実施例】図1はこの発明の一実施例を示す構成図である。図に示すように、通信システム装置1はアナログ外線4aを介し外部のファクシミリ装置2aに、デジタル外線4bを介し外部のファクシミリ装置2bに、内線5a~5nを介し例えば他のファクシミリ装置3a~3nに接続されている。

【0024】通信システム装置1は主制御部6、識別手段7、記憶部8、転送手段9、G3通信制御部10、G4通信制御部11、操作表示部12、スキャナ13及びプロッタ14を有する。

【0025】主制御部6はシステム全体の制御を行う。識別手段7はG3プロトコルのTSI信号、NSS信号又はG4プロトコルのSETUP信号中の発番号、SETUP信号中の発サブアドレス若しくはCSS信号のいずれかに含まれる発信者識別用の情報を記憶部8の識別データ記憶部81に記憶された発信者識別用データと比較し、一致した場合に発信者別に記憶部8の受信文書記憶部82の対応するパーティションに記憶し、一致しない場合は一致しない受信原稿等を記憶する共通のパーティションに記憶する。記憶部8は識別データ記憶部81と受信文書記憶部82を有する。識別データ記憶部81は図2に示すように発信側電話番号、発信者名称、着番号、着アドレス及び受信文書記憶部82のパーティションの位置等の発信者識別用データを記憶し、受信文書記憶部82は識別データ記憶部81の発信者識別用データに対応したパーティション8a~8nを有し、識別データ記憶部81に記憶された発信者識別用データと一致した発信者からのファクシミリ原稿を発信者識別用データに対応したパーティション8a~8nに保管する。転送手段9は内線5を介して接続したファクシミリ装置3a~3nから転送要求があると、要求された発信者別の原稿を要求したファクシミリ装置3a~3nに転送する。G3通信制御部10はアナログ外線4aを介しG3対応のファクシミリ装置2aに接続し、内線5を介しファクシミリ装置

5

3に接続され、G3対応のファクシミリ装置2aから発信されたファクシミリ原稿を受信したり、内線5a~5nを制御し内線5a~5nを介し接続されたファクシミリ装置3a~3nに受信原稿を転送したりする。G4通信制御部11はデジタル外線4bを介しファクシミリ装置2bに接続され、デジタル外線4bを制御し、G4対応のファクシミリ装置2bから発信されたファクシミリ原稿を受信したりする。

【0026】通信システム装置1は例えばアナログ外線4aを介してG3対応のファクシミリ装置2aから画情報等の原稿を受信した場合、G3プロトコルの制御信号に含まれるTSI信号又はNSS信号中に含まれる発信者識別用の情報を識別手段7で識別して、記憶部8の受信文書記憶部82に発信者別に受信原稿を記憶する。内線5を介し接続した例えばファクシミリ装置3aから転送要求がくると、転送手段9は転送要求をしたファクシミリ装置3aに発信者別に記憶した画情報等の原稿をG3通信制御部10を介して転送する。

【0027】上記、通信システム装置1の原稿受信動作において、制御信号を受信してから記憶部8の受信文書記憶部82に受信した画情報の原稿を記憶するまでの動作を図3のフローチャートを参照して説明する。

【0028】アナログ外線4aを介し接続したG3対応のファクシミリ装置から着信があると(ステップS1)、識別手段7はG3プロトコル中のTSI信号に入っている発信者電話番号又はTSI信号が送られてない場合はNSS信号に入っている発信者名と記憶部8の識別データ記憶部81に記憶した情報を比較する。NSS信号も送られてきてない場合は(ステップS2)、画情報等の原稿を受信し記憶部8の受信文書記憶部82の例えば共通のパーティション8nに記憶する(ステップS5)。

【0029】受信した制御信号に入っている情報と記憶部8の識別データ記憶部81に記憶した情報が一致する場合は(ステップS3)、記憶部8の識別データ記憶部81に記憶したデータに対応した受信文書記憶部82の例えばパーティション8aに受信した画情報等の原稿を記憶する(ステップS4)。

【0030】受信した制御信号に入っている情報と識別データ記憶部81に記憶した情報が一致しない場合は(ステップS3)、画情報等の原稿を受信して記憶部8の受信文書記憶部82の例えば共通のパーティション8nに記憶する(ステップS5)。

【0031】このように、TSI信号及びNSS信号を識別データ記憶部81に記憶した情報と比較することにより、標準機能を利用したG3対応のファクシミリ装置からでも非標準機能を利用したG3対応のファクシミリ装置からでも受信した制御データに合わせて発信者を識別できる。

【0032】ここで、デジタル外線4bを介して接続し

6

たG4対応のファクシミリ装置2bから画情報等の原稿を受信した場合は、TSI信号又はNSS信号を調べる代わりに、SETUP信号の発番号、発サブアドレス又はCSS信号を調べる。G3対応のファクシミリ装置2aから画情報等の原稿を受信した場合と同様にG4対応のファクシミリ装置2bがSETUP信号をしようする特殊なファクシミリ装置であっても、G4標準プロトコルを使用するファクシミリ装置であっても発信者を識別できる。

【0033】次に、例えば内線5を介して接続したファクシミリ装置3aから画情報等の受信原稿の転送要求があり、記憶部8の受信文書記憶部82に記憶した画情報等の受信原稿をファクシミリ装置3aに転送する場合の動作を図4のフローチャートを参照して説明する。

【0034】内線5を介して接続したファクシミリ装置3aから発信側電話番号又は発信側名称等を含む転送要求がくると(ステップS11)、転送手段9は記憶部8の識別データ記憶部81を調べ要求された発信側の電話番号又は名称に対応する受信文書記憶部82のパーティションが存在するか否かを調べる。要求された発信側の電話番号又は名称に対応する受信文書記憶部82のパーティションがない場合又は該当するパーティションの中に画情報等の受信原稿が記憶されていない場合は(ステップS12)、転送手段9は要求したファクシミリ装置3aに蓄積された画情報等の受信原稿がないことを示すメッセージをG3通信制御部10を介して転送を要求したファクシミリ装置3aに送る(ステップS13)。例えばパーティション8aに該当する画情報等の受信原稿がある場合は、転送手段9は要求に該当する画情報等の受信原稿を転送を要求したファクシミリ装置3aにG3通信制御部10を介して転送する(ステップS14)。

【0035】なお、転送手段9は発信者別の画情報等の受信原稿を予め設定した内線5で接続したファクシミリ装置3a~3nに予め設定した時間に自動的に転送するようにしたり、予め設定した件数の画情報等の受信原稿が蓄積されたら自動的に転送するようにしても良い。

【0036】なお、画情報等の受信原稿を転送する時間、ファクシミリ装置及び件数等の設定は操作表示部12から入力しても、内線5で接続したファクシミリ装置3a~3nから設定してもよい。

【0037】ここで、画情報等の受信原稿は発信者別に転送されるので、内線5で接続したファクシミリ装置3a~3nは必要なときに必要な画情報を発信者別に区分し出力できる。

【0038】

【発明の効果】この発明は以上説明したように、識別手段はG3対応のファクシミリ装置から受信したTSI信号を用いて発信者を識別し発信者別に記憶する。G3プロトコルの標準であるTSI信号を使うので、発信側ファクシミリ装置が通信手順の細部に差異がある他社のも

10

20

30

40

50

のであっても、発信者を識別することができ、発信者を識別できない場合が少なくなる。

【0039】また、識別手段はG3対応のファクシミリ装置から受信したNSS信号を用いて発信者を識別する。NSS信号を使うことにより、同一プロトコルを用いるファクシミリ装置間で通信する場合は、非標準機能を使い発信者を識別することができるので、同一プロトコルを用いるファクシミリ装置間では設定を自由にでき、発信者をさらに詳しく区分することができる。

【0040】また、識別手段はG4対応のファクシミリ装置から受信したSETUP信号中の発番号を用いて発信者を識別するので、SETUP信号を使用した特殊なファクシミリ装置等からの信号を使い発信者を識別することができ、発信者を詳しく区分することができる。

【0041】また、識別手段はG4対応のファクシミリ装置から受信したSETUP信号中の発サブアドレスを用いて発信者を識別するので、SETUP信号を使用した特殊なファクシミリ装置等からの信号を使い発信者を識別することができ、発番号との組合せにより担当者毎に区分けすることができる。

【0042】また、識別手段はG4対応のファクシミリ装置から受信したCSS信号中の発信者識別用データを用いて発信者を識別する。G3プロトコルの標準であるCSS信号を使うので、発信側ファクシミリ装置が通信手順の細部に差異がある装置であっても、発信者を識別することができ、発信者を識別できない場合が少なくなる。

【0043】また、発信者別に記憶部に蓄積された受信原稿を予め設定した時間に内線で接続されたファクシミリ装置に転送する転送手段を有するので、ある程度受信原稿が溜ってから原稿を発信者別に区分けして転送で

き、毎日定時にファクシミリ装置により受信した情報を集計するような場合に区分けが容易になる。

【0044】さらに、転送手段は記憶部で発信者別に蓄積された受信原稿を内線で接続された予め設定したファクシミリ装置に転送するので、発信者別に異なったファクシミリ装置から原稿を出力でき、同一ファクシミリ装置からは常に同一発信者からの画情報等の受信原稿が出力され処理が容易になる。

【0045】さらに、転送手段は発信者別に記憶部に蓄積された受信原稿を内線で接続されたファクシミリ装置からの要求によりその要求したファクシミリ装置に転送するので、接続された任意のファクシミリ装置から発信者を指定して原稿を転送でき、必要なときに必要なファクシミリ情報を出力することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施例を示すブロック図である。

【図2】記憶域の構成図である。

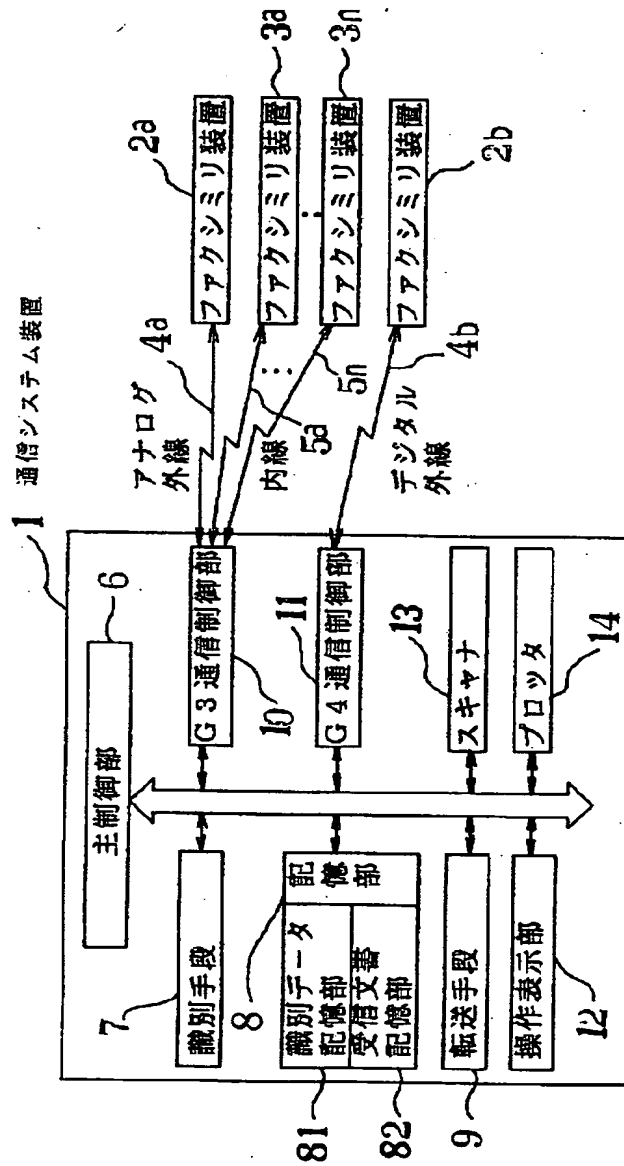
【図3】上記実施例の動作を示すフローチャートである。

20 【図4】実施例の動作を示すフローチャートである。

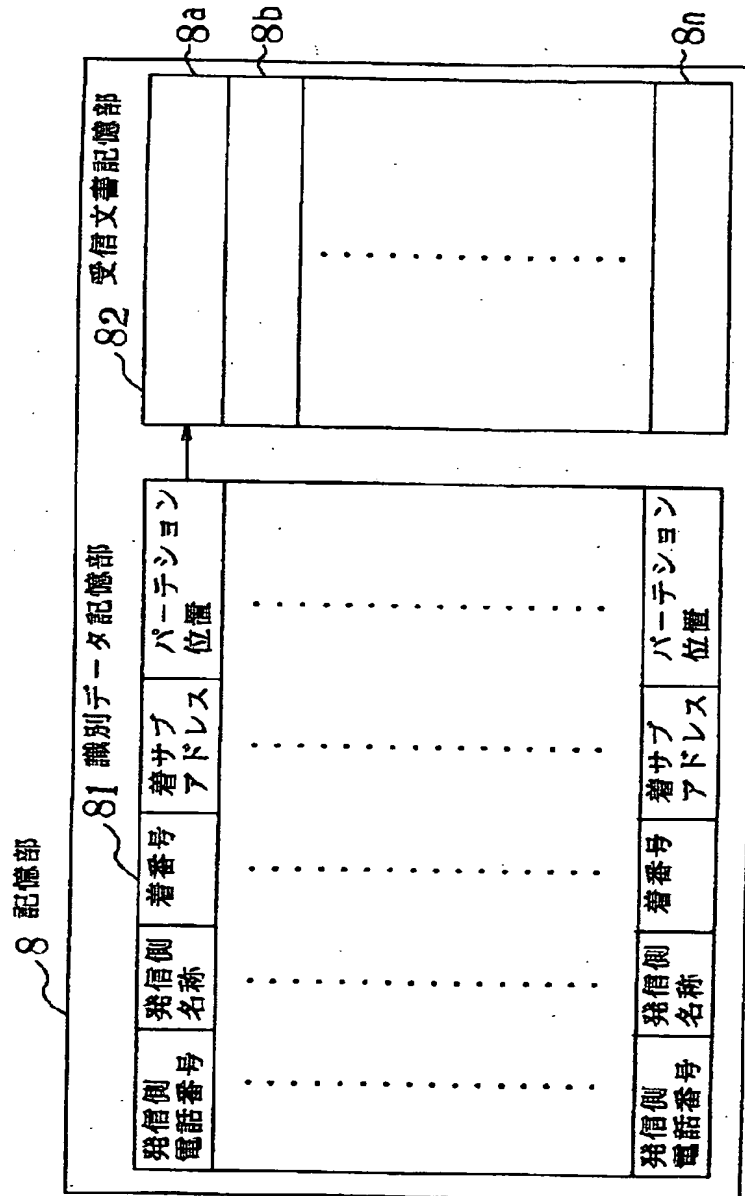
【符号の説明】

- | | |
|----|----------|
| 1 | 通信システム装置 |
| 2 | ファクシミリ装置 |
| 3 | ファクシミリ装置 |
| 6 | 主制御部 |
| 7 | 識別手段 |
| 8 | 記憶部 |
| 9 | 転送手段 |
| 10 | G3通信制御部 |
| 11 | G4通信制御部 |
| 12 | 操作表示部 |

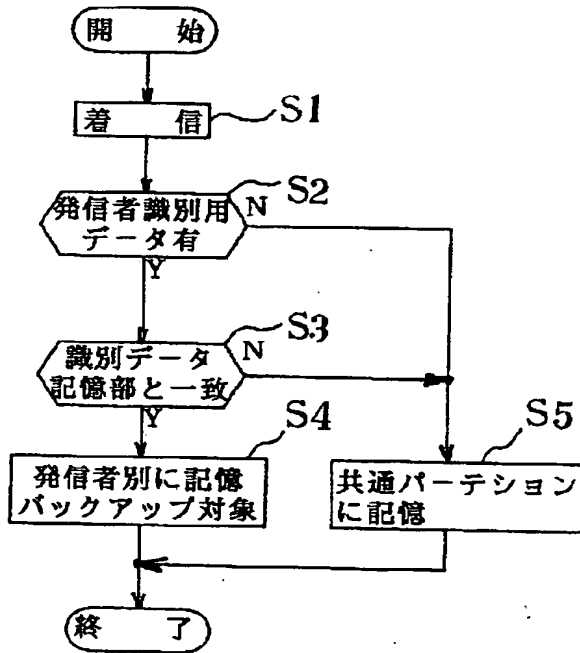
【図1】



【図 2】



【図3】



【図4】

